

## 【現代社会】

### 問題のねらい、主に問いたい資質・能力及び小問正答率等

#### 第1問 問題のねらい

「功利主義」や「正義論」に関して要約した文書を資料として示し、それぞれの基盤となる考え方についての理解や、その考え方が実際の政策や制度にどう反映されているかについて考察する力を問うとともに、選択肢として与えられた命題について、合理的な「推論」かどうか判断する力を問う。

(年度当初に行われる授業の場面を設定)

解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)	
		知識・技能	思考力・判断力・ 表現力			
問1	1	「功利主義」の考え方についての理解		資料を基に、そこで示された「功利主義」の思想的な特徴をとらえ、基本となる考え方を示す。	53.3	
問2	2	「正義論」の考え方についての理解		資料を基に、そこで示された「正義論」の思想的な特徴をとらえ、基本となる考え方を示す。	43.4	
問3	3	(1) 私たちの生きる社会	問1の資料から得た「功利主義」の考え方についての理解	概念や理論を活用し、制度や政策の本質や日常生活に見られる人々の行為の意味をとらえることができる。	二つの資料から読み取れる考え方を基に、現実社会の制度や政策を考察し、それぞれの考え方が実際に反映されている制度や政策をとらえる。	35.1
			問2の資料から得た「正義論」の考え方についての理解			59.6
問4	5	設問で示された「推論」の定義の理解	社会的事象等をとらえる概念や理論を活用し、原因と結果の関連性について考察することができる。	「推論」の定義を基に、選択肢で示された社会的事象に関する命題について、前提と結論との関係が妥当かどうかを考察する。	66.7	

## 第2問 問題のねらい

青年期と自己の形成の課題について、アイデンティティや防衛機制に関する概念や理論等を活用して、進路決定や日常生活の葛藤について考察する力を問うとともに、日本及び世界の宗教や文化をとらえる上で大切な知識や考え方についての理解を問う。

(夏休みの課題として複数のテーマについて調べる場面を設定)

解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)
		知識・技能	思考力・判断力・ 表現力		
問1	(2) 現代社会と人間としての 在り方生き方 ア 青年期と自己の形成	資料で示された心理学者のマーシャの考え方についての理解	概念や理論を活用し、制度や政策の本質や日常生活に見られる人々の行為の意味をとらえることができる。	資料で示されたマーシャの考え方を基に、選択肢で示されたアイデンティティの状態を分類する。	87.0
問2		「防衛機制」の理解	概念や理論を活用し、制度や政策の本質や日常生活に見られる人々の行為の意味をとらえることができる。	日常生活で「葛藤」を感じたときに、対処する「防衛機制」の種類をとらえる。	74.9
問3		日本の伝統や文化を考える上で重要となる概念についての理解		日本の各時代に生じた宗教や文化の特徴をとらえる。	67.5
問4		ユダヤ教・キリスト教・イスラム教の関係についての理解		資料で示された『デカメロン』の中の「三つの指輪」(要約)を読み、その主旨をとらえる。	80.7

### 第3問 問題のねらい

市場メカニズム等の経済の基本的な概念や理論に関する知識と、第二次世界大戦後の消費支出や外国為替相場に関する諸資料等を活用し、具体的な経済現象等について考察する力を問う。

(生徒同士が授業で会話したり議論したりする場面を設定)

解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)	
		知識・技能	思考力・判断力・ 表現力			
問1	10	・市場経済での価格メカニズムの理解 ・インフレーション・デフレーションの理解	社会的事象等をとらえる概念や理論を活用し、原因と結果の関連性について考察することができる。	江戸時代の小判改鋳を基に、経済に関する基本的な概念や理論を活用し、貨幣改鋳の経済的な効果について考察する。	35.6	
問2	11	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方	・設問で示されたエンゲル係数の理解 ・グラフから情報を読み取る技能	社会的事象等をとらえる概念や理論を活用し、原因と結果の関連性について考察することができる。	設問で示されたエンゲル係数に関する知識を活用し、グラフに見られるその推移の原因や理由、検証方法について考察する。	44.6
問3	12		・市場メカニズムについての理解 ・需要供給曲線についての理解	社会的事象等をとらえる概念や理論を活用し、他の社会的事象等をとらえることができる。	需要供給曲線を活用し、金融市場の変化をとらえる。(当てはまる選択肢を全て選択させる問題)	17.0
問4	13	(2) 現代社会と人間としての在り方生き方 エ 現代の経済社会と経済活動の在り方 オ 国際社会の動向と日本の果たすべき役割	・円高・円安とその影響についての理解 ・グラフから情報を読み取る技能	社会的事象等をとらえる概念や理論を活用し、原因と結果の関連性について考察することができる。	グラフを基に、円の対米ドル為替レートの推移を読み取るとともに、需要と供給の関係から、為替レート変動の影響や理由について考察する。	43.1
問5	14		・環境問題の「市場化」の概念の理解 ・環境問題への対応についての理解		環境問題に関する知識を基に、地球温暖化防止の経済的な手法についてとらえる。	37.6

#### 第4問 問題のねらい

政治に関わる身近な課題について、政治制度を理解する上で重要な知識、概念及び理論の理解を問うとともに、成年年齢の引下げをめぐる議論について取り上げ、諸資料を活用し、様々な立場から考察し理由や根拠を示す力を問う。

(1年間の授業の復習として生徒が教師とともに問題を作成する学習場面を設定)

解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)
		知識・技能	思考力・判断力・ 表現力		
問1 15	(2) 現代社会と人間としての 在り方生き方 イ 現代の民主政治と政治参加 の意義	両議院の選挙制 度の違いについ ての理解		衆議院と参議院の選挙に おける有効となる投票方法 をとらえる。(当てはまる 選択肢を全て選択させる問 題)	4.8
問2 16	(2) 現代社会と人間としての 在り方生き方 イ 現代の民主政治と政治参加 の意義	個人と国家の関 係等について説 いた思想家の著 書と思想内容の 理解		民主政治における個人と 国家、国家間の関係などに 関する先哲の思想の内容を とらえる。	50.8
問3 17	(2) 現代社会と人間としての 在り方生き方 オ 国際社会の動向と日本の果 たすべき役割	第二次世界大戦 後の国際政治に おいて節目と なった出来事 についての理解		第二次世界大戦後の国際 政治の動向に大きな影響を 及ぼした出来事を発生順に 並べ替える。	74.4
問4 18	(2) 現代社会と人間としての 在り方生き方 ア 青年期と自己の形成 イ 現代の民主政治と政治参加 の意義 ウ 個人の尊重と法の支配	・民法における 成年年齢の理解 ・資料から情報 を読みとる技能	社会的事象等を多面的・ 多角的に考察し、課題の解 決に向けて、公正に判断す ることができる。 社会的事象等を多面的・ 多角的に考察した過程や結 果を、理由や根拠に基づい てまとめることができる。	世論調査の結果等をまと めた資料を基に、民法に定 める成年年齢の引下げをめ ぐる議論について賛成・反 対の立場に立って考察し、 前提となる事実と主張の理 由・根拠を示す資料を特定 する。	44.9

## 第5問 問題のねらい

大学の法学基礎ゼミナールの授業場面を設定し、学生がまとめた文章に示された日本国憲法や日本の司法制度に関する知識についての理解を問うとともに、裁判員制度に関する学生同士の議論で展開された賛成・反対の主張とそれぞれの根拠を考察する力を問う。

解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要	正答率 (%)	
		知識・技能	思考力・判断力・ 表現力			
問1	19	(2) 現代社会と人間としての 在り方生き方 イ 現代の民主政治と政治参加 の意義  ウ 個人の尊重と法の支配	実際の政治制度 の中の権力分立 についての理解		三権分立の理念がどのよ うに実際の政治制度に反映 されているかをとらえる。	50.9
問2	20		・法人の概念に ついての理解 ・日本国憲法で 規定されている 人権についての 理解	社会的事象等をとらえる いくつかの「考え方」に基 づいて内容を考察し、関連 性や社会的な意味をとらえ ることができる。	人権が保障される主体に 関する考え方を活用し、日 本国憲法で法人に保障され る人権をとらえる。	67.8
問3	21		国と地方自治体 の行政機関に関 する理解		日本の政治制度の中での 行政機関の仕組みをとらえ る。	47.9
問4	22		・憲法14条1項 についての理解 ・違憲審査権と その判例につい ての理解		三権分立を考える上で重 要な裁判所の違憲審査に関 する判例についてとらえる。	19.8
問5	23		裁判員制度につ いての理解	様々な立場からの主張 を、根拠に基づいて多面 的・多角的に考察し、課題 の解決に向けて、公正に判 断することができる。	裁判員制度に関する学生 の議論を読み、それぞれの 学生の主張の根拠を考察 し、各発言が賛成・反対の どちらの立場に立つものか を判断する。	76.3